

試験研究成果普及情報

部門	資源管理・増養殖	対象	普及
課題名：ノリ高水温耐性品種の作出			
〔要約〕近年の高水温によるノリ養殖の生産不振に対応するためにノリ養殖新品種「ちばの輝き」を開発した。主な特徴は秋期の生長に優れ収量性が高く、乾ノリの等級は既存対照品種より優れる。			
フリーワード [*] ノリ，品種，ちばの輝き，高水温耐性，秋期高生長			
実施機関名	主 査	水産総合研究センター東京湾漁業研究所のり貝類研究室	
実施期間	2005年度～2009年度		

〔目的及び背景〕

水温はノリ葉体の生育を大きく左右する要因である。東京湾の水温は、特にノリ養殖にとって重要な秋期の育苗期から生産初期の上昇が顕在化している。このため、近年では秋期のノリ葉体の生長鈍化や流失などが生じて、ノリ養殖の生産量、特に単価の高い年内生産量の減少を招いている。

そこで、年内生産量の増大と安定化に寄与する高水温耐性を持つ新品種の作出に取り組んだ。

〔成果内容〕

1 育成経過

- (1)平成17年漁期に県内15漁場において、通常よりも早期の高水温下で網を張り込み複数の候補株を選抜した。
- (2)平成17年から18年には実験室内で選抜を行い純系化し、候補系統を作出した。
- (3)平成19、20年には作出した候補系統の野外養殖試験を行い、既存対照品種と比べ、収量、品質ともに優れていることを確認し、「ちばの輝き」という品種名で、品種登録申請を行った。

2 新品種の主な特徴（表1）

- (1)生長性は育苗期から秋芽生産期に至るまで対照品種（KN,U-51）よりも優れ、収量性が高い。
- (2)風波による葉体の流失が少ない。
- (3)葉形は極めて細く、対照品種の約2倍の葉長葉幅比（葉長／葉幅）である。
- (4)栄養繁殖性（単孢子放出）は極めて低く、単孢子を放出しない場合が多い。
- (5)葉の厚さは薄い。
- (6)乾ノリの等級は優れる。

〔留意事項〕

- 1 新品種「ちばの輝き」はナラワスサビノリであり、採苗から養殖方法は既存のナラワスサビノリ養殖品種と同様である。
- 2 水温以外の様々の要因もノリの生育や養殖管理に影響を及ぼすので、本品種を利用した場合にも養殖開始時期を早めないこと。

3 品種の特性は適切な管理のもとで発揮されるものであること。

[普及対象地域]

東京湾沿岸のノリ養殖地域

[行政上の措置]

1 平成 21 年 9 月に品種登録申請を行い、11 月に出願公表された。

2 品種登録された品種の利用に関する注意事項の生産者への周知

[普及状況]

平成 21 年度は千葉北部地区 13 名、木更津地区 5 名、富津地区 12 名の生産者が試験養殖を実施中である。

[成果の概要]

表 1 新品種「ちばの輝き」の特性

特性項目	新品種	対照品種	
	ちばの輝き	KN(19 年度)	U-51(20 年度)
葉長(mm, 平均±SD)			
育苗終了時	34.1±4.31 a	19.9±5.11 b	
	52.6±8.1 a		34.1±4.8 b
摘採前	274.8±43.3 a	205.1±39.7 b	
	296.0±65.1 a		222.0±57.7 b
収量(枚/ノリ網)*	473	129	
※ 10 帖 300g 換算枚数	529		294
流失抵抗性* ¹	やや強	中	中
栄養繁殖性* ²	なし	幼芽期	幼葉期
葉長葉幅比(平均±SD)			
育苗終了	19.7±4.2 a	10.3±3.1 b	
	30.4±6.1 a		14.4±2.6 b
摘採前	28.7±4.4 a	13.3±4.8 b	
	8.8±2.4 a		5.4±1.6 b
葉の厚さ(μm, 栄養細胞)	26.6±1.7 a		32.5±1.8 b
乾ノリ等級	上 2 等	上 3 等	4 等

※1・2 昭和 55 年度種苗特性分類調査報告書(社団法人日本水産資源保護協会)に準じた。
異なるアルファベットは 1% 水準(スチューデント t 検定)で有意差を示す。

[発表及び関連文献]

1 千葉県知事定例記者会見(平成 21 年 11 月 26 日)

2 ちば県民だより(平成 21 年 12 月 5 日)

[その他]

なし